

1. 件名：原子炉主任技術者試験に係る事業者との面談について
2. 日時：令和5年1月20日（金） 13：00～14：00
3. 場所：原子力規制委員会 原子力安全人材育成センター 20階研修室C（テレビ会議システムによる開催）

4. 出席者：

原子力規制委員会

原子力規制庁 原子力規制部 実用炉審査部門 岩澤安全規制調整官

原子力安全人材育成センター 迎副所長、青木規制研修課長

北海道電力株式会社 原子力事業統括部 部部長 他1名

東北電力株式会社 原子力本部原子力部（原子力人材育成） 課長 他1名

東京電力ホールディングス株式会社 原子力立地・本部原子力人材育成センター所長 他1名

中部電力株式会社 原子力部総括・品質保証グループスタッフ課長 他1名

北陸電力株式会社 原子力技術研修センター所長 他1名

関西電力株式会社 原子力事業本部原子力研修センター所長

中国電力株式会社 電源事業本部原子力人材育成センター所長 他1名

四国電力株式会社 原子力本部伊方発電所品質保証部人材育成課課長 他1名

九州電力株式会社 原子力発電本部原子力運営グループグループ長 他1名

電源開発株式会社 原子力事業本部原子力技術部運営基盤室教育総括 他1名

日本原子力発電株式会社 原電総務室人材育成・採用グループGM 他1名

5. 要旨

- (1) 各事業者から、原子炉主任技術者試験に合格する社員数を増やすための取組状況、懸案事項、要望等について、以下のとおり説明があった。

○取組状況

- ・筆記試験の受験対策として、現役の原子炉主任技術者、若手の合格者、大学から講師を招くなどして勉強会を開催等
- ・口答試験の受験対策として、過去問の共有、現役原子炉主任技術者による模擬面談の実施等

○懸案事項

- ・原子炉主任技術者の高齢化
- ・試験合格者の減少傾向

- ・模範解答がないため不合格者は次回試験への対策が出来ない等

○要望等

- ・どの科目の点数が不足して不合格となったのかが分かるように点数を教えて欲しい
- ・6課目一括での合格ではなく課目別による合格を検討して欲しい
- ・模範解答の公開

(2)原子力安全人材育成センターから以下のとおり説明した。

- ・試験事務を担当している当局としては、各事業者の合格者数を増やす取組について指南するようなことはできない。
- ・試験問題の難易度の水準は維持するように努めており、近年の一般枠での受験者の合格率低迷は、仕事をしながら受験勉強もしなければならぬ受験者側の事情によるものと考えている。
- ・規則上、筆記試験では専門的知識を、口答試験では経験を問うことになっているので、筆記試験に合格したからと言って、経験がなければ二次試験は合格できない。
- ・模範解答を公開していないのは、筆記試験が記述式であり、理論の適用、計算過程等の途中過程も含めて解答の内容を確認していることから、ある特定の正答例を公開することは適当でないと考えているため。

(3)原子力規制部から以下のとおり指摘した。

- ・各社の取り組みのなかで、強みを持ち寄り、電力大で研修環境を整えてはどうか。
- ・試験対応に関する情報の質も高まり、社員の人的負担も軽減できるのではないか。

以上